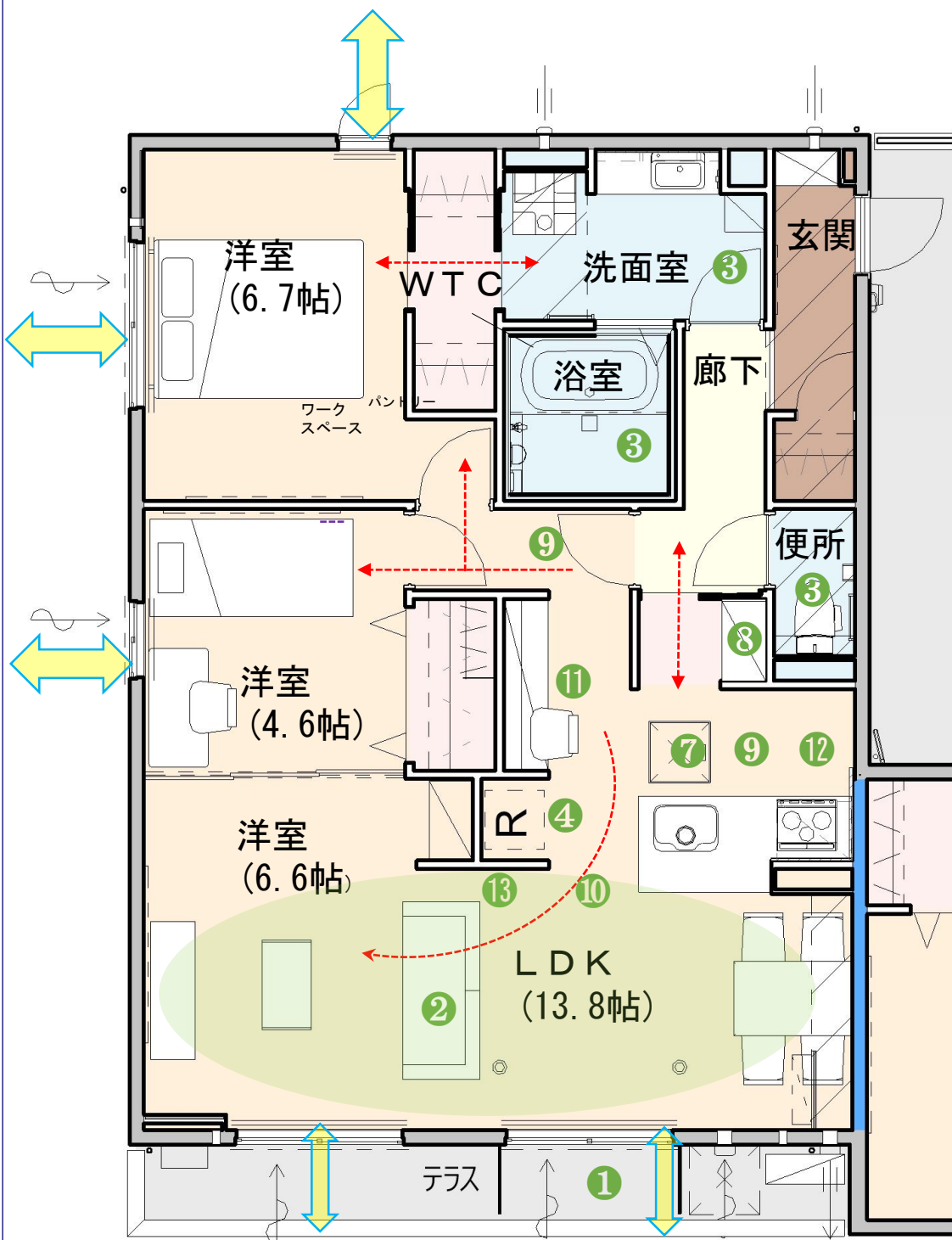


平面プラン図

< 子育て世帯住宅代表プラン >



Daiwa House Group



A-Type 3LDK
(73.80m²)

(E x : LDKと洋室を一体利用)

★ 健康で安心・安全な子育て環境

- ①リビングの窓は大きくとり、十分な明るさと風通しの良い住環境とすることで、快適な住まいをご提案します。
- ②可動間仕切り（ライトスルースクリーン）で区切られた洋室は、子どもの年齢や人数の変化などに合わせて柔軟にお使いいただけます。また、子ども部屋だけでなく、テレワークスペースやリビングとの一体利用も可能で、家事や仕事をしながらの子育てに便利です。
- ③玄関以外は、水廻りも含め、床に段差を無くし、つまづきによる転倒を防止します。
- ④リビングの壁の角にはR壁仕様を設け、ぶつかった場合の子どもの安全性に配慮します。
- ⑤バルコニーの手摺り高さを1.1m以上とするとともに、足がかり等を無くすことで、安全性を確保します。

★ 家事がしやすい空間づくり

- ⑥奥様の家事動線に配慮し、水廻り（洗面室・浴室・便所）は極力集約した配置計画とします。家事をしながら、部屋中をぐるりと回遊できるスムーズな家事動線です。
- ⑦対面キッチンを採用し、調理をしながら、子どもやご家族に目が届きやすい計画とします。
- ⑧キッチンに隣接して、パントリー収納を提案。食料品などが収納でき、ゴミ箱置場としても活用できます。また、買い物帰りに玄関からすぐに収納できる便利な動線計画とします。

★ 親子の触れ合い提案

- ⑨オープンキッチン・ペニシュラキッチンを採用することで、リビング・ダイニングとの開放的な空間の確保と調理しながら子どもとのコミュニケーションが取りやすい計画とします。
- ⑩洋室にはリビングアクセスの動線とし、子どもと常にコミュニケーションがとりやすい住環境に配慮します
- ⑪キッチンの近くに、子どもが勉強できるワークスペースやホビールームを設け、調理をしながら子どもとのコミュニケーションを図ります。テレワーク時にもご家族で活用できます。
- ⑫折りたたみ式のキッチンステップを設け、子どもと一緒に楽しく料理が楽しめます。キッチンには火を使わないIH機器を採用し、子どもの安全性に配慮します。
- ⑬リビングの一部の壁に、ホワイトボードを設置し、子どもとお絵描きなどが楽しめます。